取扱説明書

目次

重要なお知らせ

- 本製品品には特別な保証規約がございます。（プロテインスキマーの保証について）を必ずお読みください。
- 購入店の印字・購入日が記載されていない場合は、本保証は無効となります。
- シリアルナンバーは絶対にはがさないでください。
- 保証書は、期間が過ぎても必ず保管してください。
- ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みください。またお手元に置き、いつでもご確認できるようにしておいてください。

本書の表記について

人体及び周囲に危険を及ぼしたり、装置に大きなダメージを与える可能性があることを示しています。必ず守ってください。

機能停止を招いたり、水槽内及び周囲に影響を及ぼす可能性がある事を示しています。十分注意してください。

操作や通常の使用に関連した情報です。ご参考にお読みください。

安全にお使いいただくために

本機を安全にお使いいただくために下記をよくお読みになり、必ず守ってお使いください。

- 本機から発煙や異臭がするとき、及び電源ケーブルが発熱しているときは、直ちに電源スイッチを切り、電源コンセントを抜いてください。そのまま使用し続けると、火災や感電の恐れがあります。
- 濡れた手で電源ケーブルを触らないでください。感電の恐れがあります。
- 電源ケーブルを傷つけたり、無理に曲げたり、引っ張ったりしないでください。火災や感電、ショート、断線の原因となります。
- 本機をご使用になる地域のヘルツを予めご確認ください。本機は、日本国内 100V（50Hz または 60Hz）の電源専用です。ポンプのラベル部分をご確認ください。ポンプの指示している電源以外でご使用しないでください。火災や感電の原因となります。
- 点検や清掃等、水中に手を入れ作業する場合は、必ず電源プラグをぬいてから作業してください。火災や感電の原因となります。
- 本機を分解・改造しないでください。火災・感電・故障の原因になります。

- タコ足配線やテーブルタップのご使用は避けてください。
- プラグやコンセントを水分で濡らさないようご注意ください。
- プラグは定期的に掃除してゴミやホコリが付着しないように注意してください。
- 電源は本機よりも高い位置にあるコンセントよりお取りください。低い位置から取る場合は、たるみを設け水分が伝わらないようにしてください。

仕様

商品名	使用ポンプ	H×W×D	対応水量
ORCA-SKIMMER OS-300	PSK-600	540×270×195	600～1000L
ORCA-SKIMMER OS-400	PSK-1000	570×285×240	800～1300L
ORCA-SKIMMER OS-600	PSK-600×2	590×330×270	800～2000L

※製品の仕様は予告なく変更する場合があります。

パッケージ内容の確認 / 各部名称

●プロテインスキマー本体

●ポンプ

●取扱説明書

●保証書

採取カップ

イージー
コントロールバルブ

ドレインバルブ

エアー調整付き
サイレンサー

ドレイン
チューブ

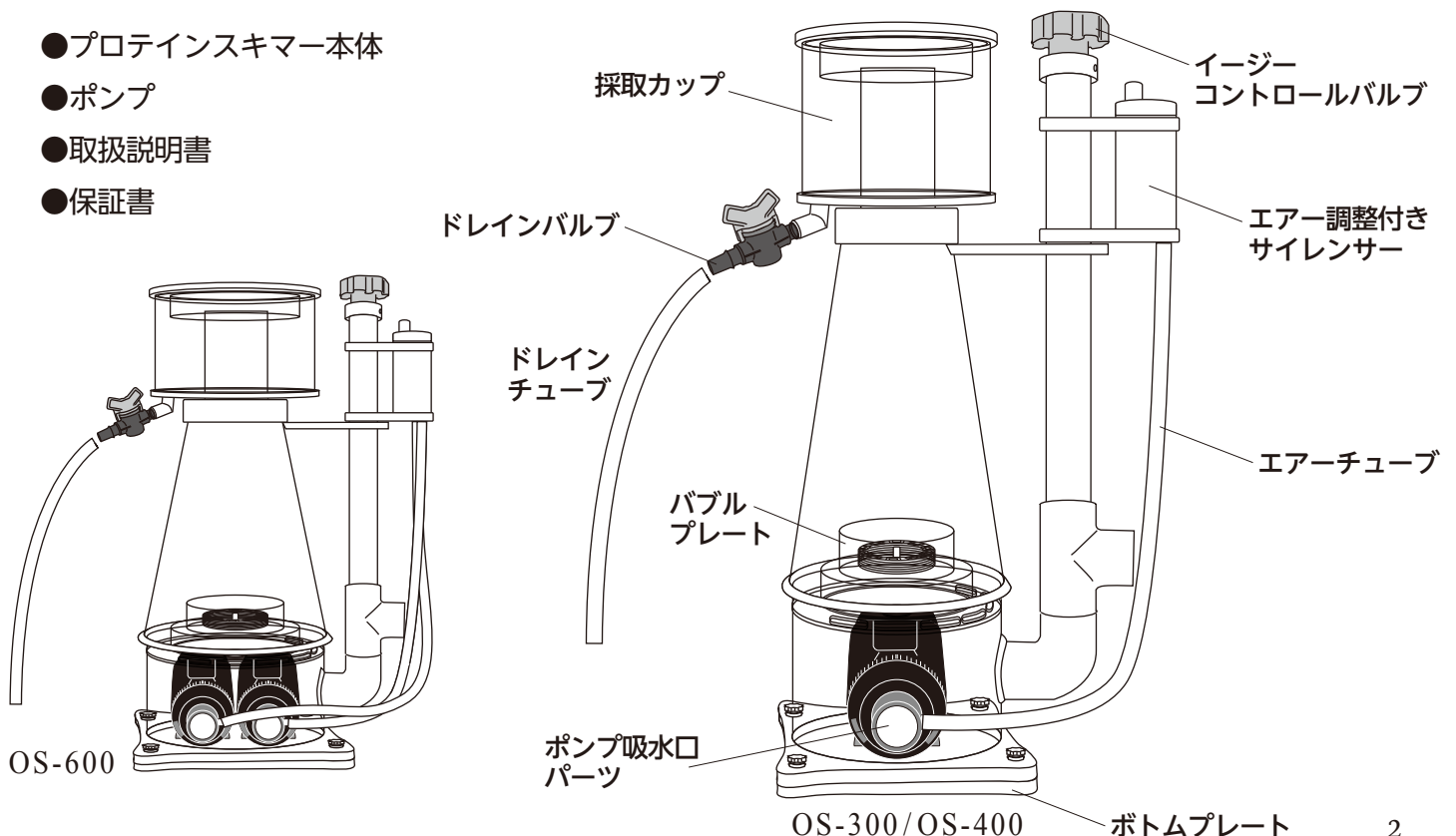
エアーチューブ

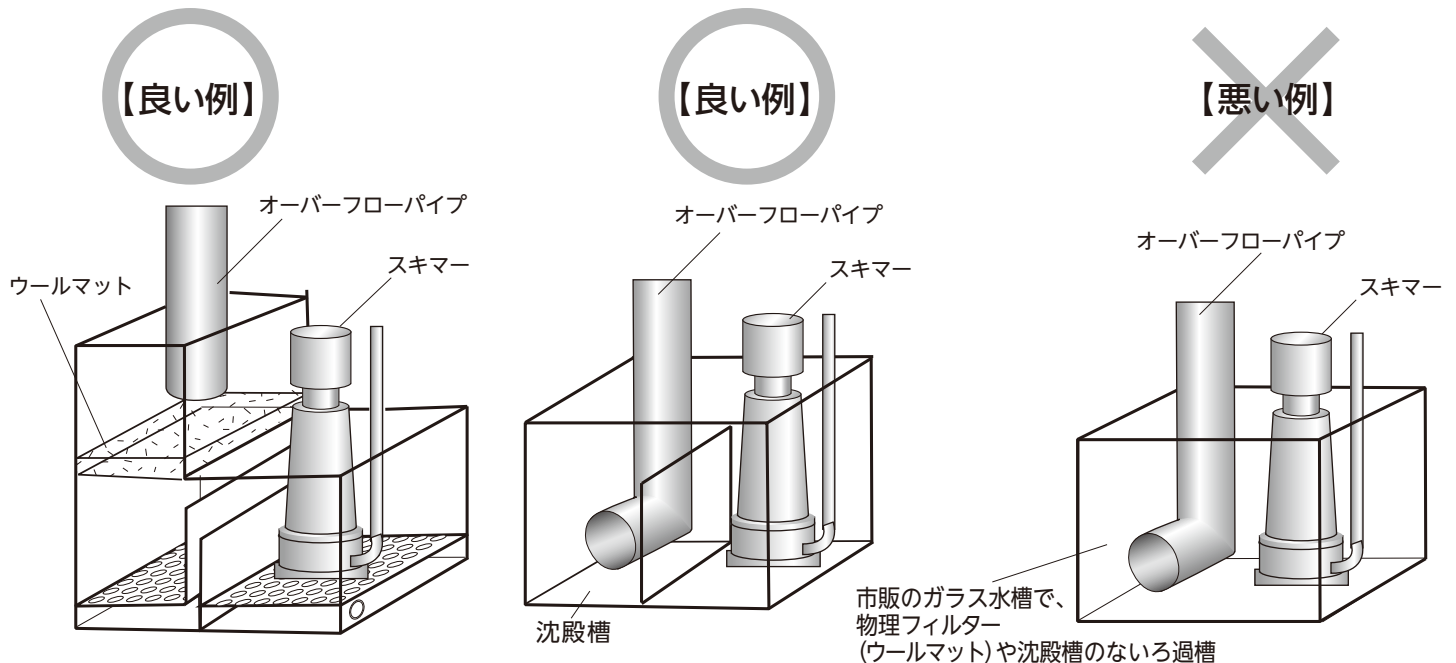
バブル
プレート

ポンプ吸水口
パーツ

ボトムプレート

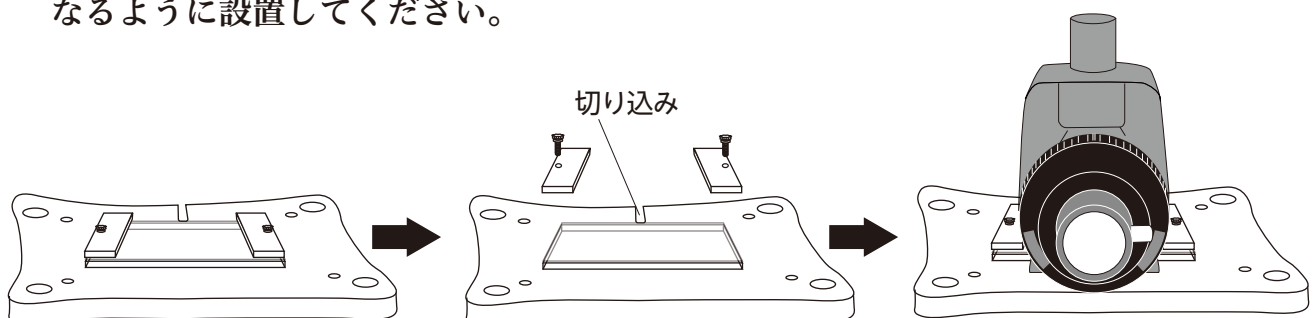
OS-600

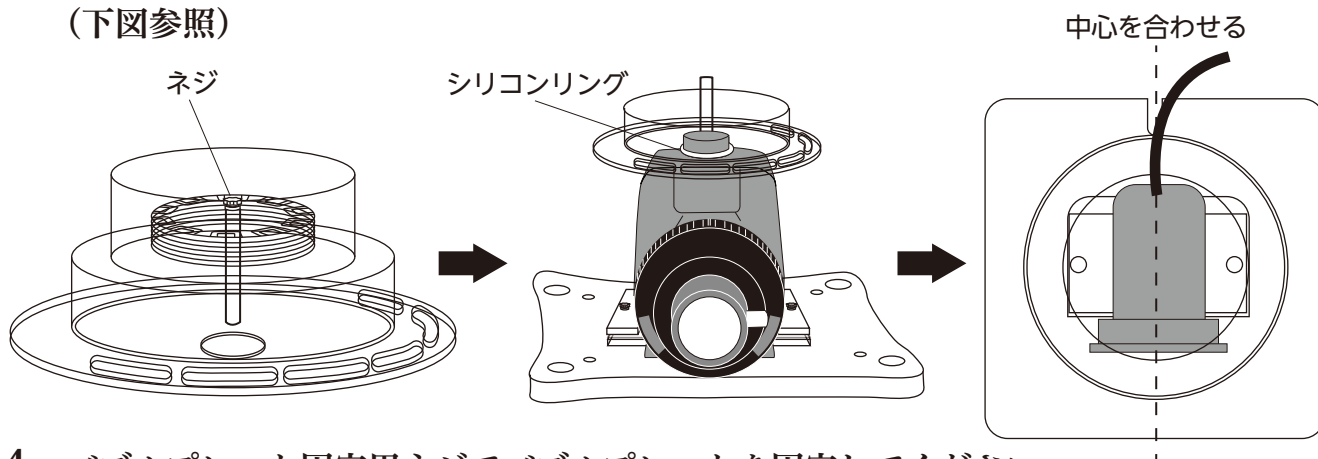
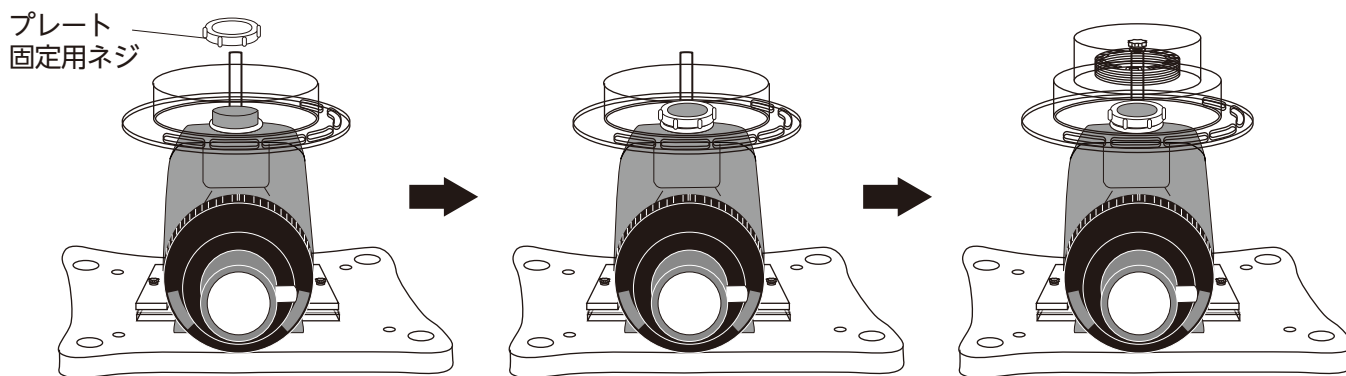
OS-300/OS-400

ろ過槽について

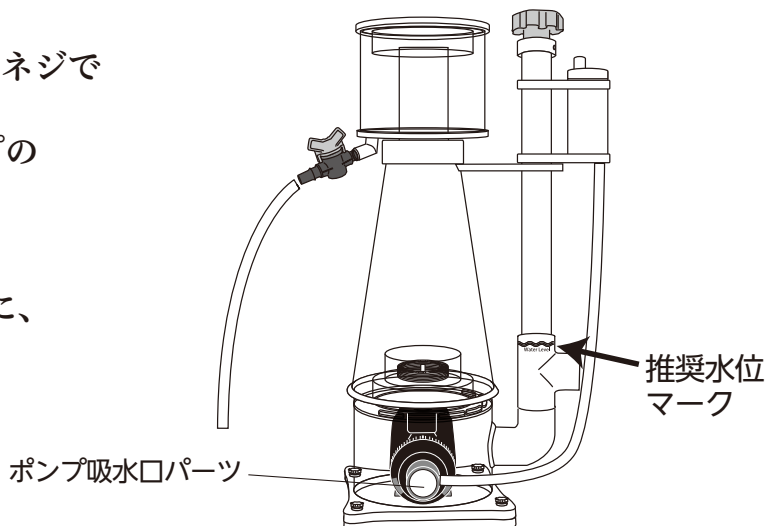
プロテインスキマーを設置するサンプは、飼育水が物理フィルター(ウールマット等)を通過しゴミのない状態でプロテインスキマー内部を通るような構造のものをお使いください。
大きなゴミ(ライブロックの破片・サンゴ砂等)が詰まりポンプの故障につながる場合があります。
また、ベルリンシステム(プロテインスキマーのみ)で飼育する方も、同様にウールにて物理処理を行うか、ろ過槽に沈殿槽を必ず設けてください。

プロテインスキマー使用方法

はじめに

プロテインスキマー使用時には、粘膜保護剤やその他水の粘度があがる商品を使う事はできません。ご注意ください。

1. 底面の4つのプラスチックネジをはずし、ボトムプレートをはずします。
2. ボトムプレートの中央のポンプ取付け部のネジとプレートを外してください。
外した後、ポンプをシリコンパッドの上に置き、ネジとプレートでポンプを固定してください。(下図参照)
※その際に、ポンプから出た電源コードが、ボトムプレートの切り込みのある側になるように設置してください。

次のページにつづく→

3. バブルプレートの中心のネジを外し、2 つのパーツに分けてください。
ポンプの排水口に付属のシリコンリングを取り付け、バブルプレートの下部をポンプの上にのせてください。
その際に、バブルプレート中央のネジ山がポンプの中心にくるようにしてください。
（下図参照）

4. バブルプレート固定用ネジでバブルプレートを固定してください。
そして、バブルプレート上部を重ね、ネジで固定して下さい。

5. 本体をボトムプレートに重ね、4 つのネジで固定してください。
その際、ポンプ吸水口パーツをポンプの吸水口に取り付けてください。
（右図参照）

6. 2 ページの「ろ過槽について」を参考に、ろ過槽内に
本機を取り付けてください。
右図の推奨水位マークに
水位を合わせてご使用ください。

サンプ内の水位について

本製品は推奨水位を守ってご使用ください。
推奨水位よりも水位が高い場合はオーバースキミングの原因となります。
また、水位が低い場合は採取カップまで泡が上がらなくなります。

7. ポンプ内部に水を入れて、空運転しないように注意して、電源を差込みポンプをスタートさせてください。
設置してスキマーを作動する際には、必ずポンプが水に浸かっているのをご確認の上、電源を入れてください。※ポンプが破損する恐れがありますので、空運転しないようご注意ください。

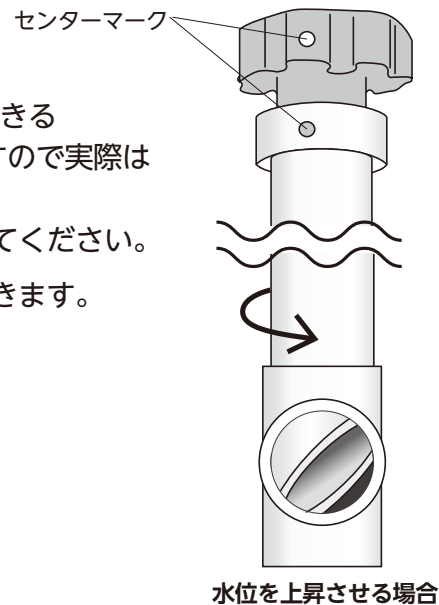
スキマーの調整方法については次ページへ→

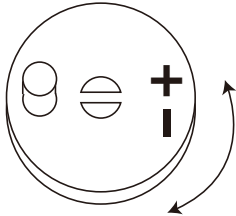
スキマー内の調整方法

スキマー内の水位と泡の量を調整するには、下記の２つの方法があります。
併用して調整を行ってください。

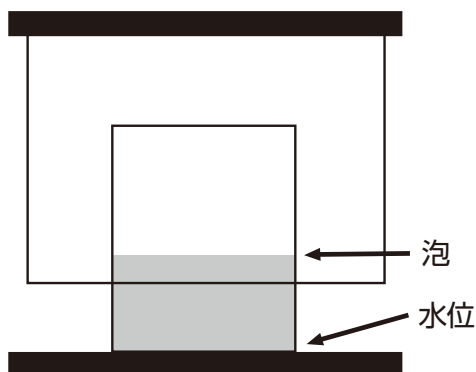
・イージーコントロールバルブ(右図)

イージーコントロールバルブは、排水量を 0〜100%まで調整できる
可変式バルブです。(0%にすると空気排出口から水があふれますので実際は
0%にはできません)
バルブを回してスキマーカップの水位が安定するようセットしてください。

センターマークを時計回りに回すと水位を上昇させることができます。

・エアー調整付きサイレンサー

調整することにより、ホンプ内に入る空気の量を減らします。
これにより、ポンプから出る泡沫量は減りますが、
水量が増えますのでスキマー内の水位は上昇します。

**セット初期・水換え後、メンテナンス直後は泡が大量に発生する事が
ありますので定期的に確認してください。**

調整の目安（汚れのとれ具合）

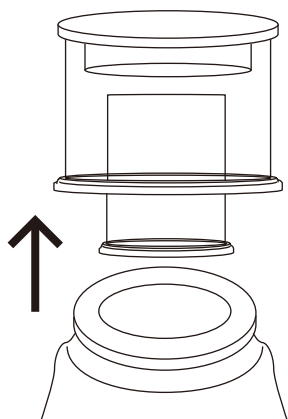
上記の方法で、カップ内に濃い茶〜黒の粘性の高い汚濁物が溜まるように調節してください。
カップ内に薄い黄色〜茶色の水が溜まっている場合は、泡の量や水位を下げて様子をみてください。

※セット初期や水換え後、添加剤を添加した後は
図のような水位と泡のバランスが保てない場合が
ありますが、問題はありません。

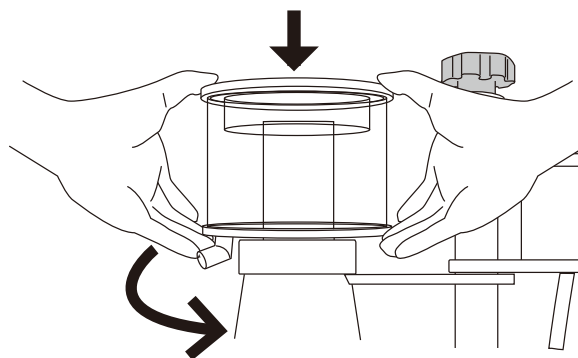
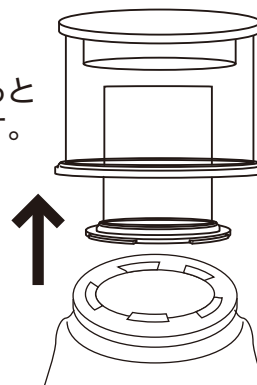
メンテナンスについて

- 採取カップを週に一度は掃除してください。(汚濁物が３分の１以上たまった場合はその時点で)
  定期的に掃除をすることにより、より多くの汚濁物を除去する事ができます。
  その際に、洗剤等は使用せず柔らかい布等を使用し、ぬるま湯で掃除してください。
- 週に一度はエアーチューブ内の掃除を行ってください。
  エアーチューブがつまると、エアー流入量が低下し、能力が大幅に低下します。
- 月に一度はモーター内部、インペラー、給水口パーツにカルシウムが沈殿し固着していないか
  確認し、固着がみられる場合は布やブラシを用いて除去してください。ブラシ等が入らない
  部分に関しては、酢酸溶液(イージィクリーン)などを用いてカルシウム分を溶解させてください。

採取カップの取り外し方

OS-300

採取カップをゆっくりと上に
持ち上げると外すことができます。

OS-400/OS-600

採取カップを下図のように持ち、
押し込みながら反時計回りに回します。

そのまま持ち上げると
外すことができます。

消耗部品について

下記のパーツは消耗品です。定期的な確認と交換を行ってください。
Oリング・インペラー・ポンプ・エアーチューブ

オルカプロテインスキマーの保証について

・インペラー・モーター等の消耗品部分は、お客さまの使用方法により消耗の頻度が異なる
ために保障期間内であっても商品の交換はできませんのでご了承ください。

・本製品の使用等による万一の生体の死亡等の保証はお受けできません。

よくある質問 Q＆A

・採取カップに水が溢れてしまう。

ろ過層の水位とスキマーの適正水位が同じかを確認してください。
水槽の立ち上げ期間、サンゴフード等の添加剤を添加した後はこのような症状になる場合があります。イージーコントロールバルブを開いて水位を下げるか、エアー調整付きサイレンサーを調節し、エアー吸気量を調節してください。
また、粘膜保護剤は使用できません。一度でも粘膜保護剤を添加すると数回の水換えが必要になります。

・泡がすぐにはじけて採取カップまであがってこない。

ろ過層の水位とスキマーの適正水位が同じかを確認してください。
また、水槽の立ち上げ期間、水換え後、添加剤を添加後はこの症状がみられることがあります。
その際はしばらく様子を見てください。

・O リング部分からの水漏れ、空気漏れがある。

各 O リング（ゴムパッキン）は様々な要因で劣化してしまいます。
定期的な確認と交換を行ってください。

・ポンプが動かない。

ポンプは消耗品です。使用に伴い、劣化してしまいます。定期的に交換してください。また、水位低下による空回りはポンプに大きなダメージを与えます。十分に注意してください。

・ポンプは動いているが、泡が発生しない。

エアーチューブからポンプ吸水口パーツにかけてほこりや塩分が詰まっていると空気を吸い込めず、泡が発生しません。定期的にこの箇所の清掃をしてください。

・スキマー内の気泡が大きすぎる。

水槽内の塩分濃度を確認してください。塩分濃度が低いとスキマーの効果を発揮できません。

万一トラブルの場合

トラブルやわからない事が発生した場合は、当社ホームページからお問い合わせ、もしくはお名前と症状をご記入いただき下記 E-mail へご連絡いただくか、ご購入のお店にお問い合わせください。

お問い合わせ
E-mail：info@mmcplanning.com

株式会社 エムエムシー企画 レッドシー事業部

〒174-0063 東京都板橋区前野町6-29-4

E-mail : info@mmcplanning.com
www.mmcplanning.com

2015.05.29